北へ南へいっせいに

アルペンルートに人気あつまる

出発ゲートに向う近畿第1団の「フリータイム・ケラマ島」コース（大阪空港で）

夏の教職員研修旅行は七月二十五日、近畿地区の「フリータイム・ザマミ島」、「恐山と十和田・弘前」両コースを皮きりに国内五十七団、海外四団が出発。

今回、九州中・北部、山口県の豪雨、台風10号による国鉄をはじめ各交通機関の寸断により一部スケジュール等の変更を余儀なくされたものの参加者全員元気に帰着した。

東北で研修会

59年実施にそなえ

関修委

【関東支局】関修委（山口善雄会長）の本年度現地研修会は八月十八日から二泊三日の予定で岩手、宮城両県で行われる。

今回は特に59年度からの東北方面修学旅行の実施に備え、現地事情の調査、関係諸機関との懇談等が予定されている。

今年で19回に

東京私学の修旅研修会

東京私立中学高等学校協会は第19回の修学旅行現地研修会（主催・全修協）を八月二十一日から四泊五日の日程で行なう。

今回は東北新幹線の開通を機会に〝芭蕉〟の足跡を辿りながら、みちのくの歴史、風物をつぶさに探究する。

コース＝①大宮―白河＝須賀川＝飯坂（泊）②＝松島＝中尊寺、毛越寺＝厳美渓（泊）③＝鳴呼＝封人の家＝山寺・立石寺＝天童（泊）④＝大石田＝酒田＝羽後本庄―車中泊⑤―上野。

7・23長崎大水害に際しましては早速ご丁重なお見舞をいただき有難うございました。

当支部事務所並びに役職員宅は幸いにも大した被害もなく、業務も平常通り行うことができております。

皆様方のご厚意に対し深甚の感謝を申しあげます。

（財）全国修学旅行研究協会
長崎県支部長　田崎辰夫
他職員一同

垣間みた中国 ①

〝你好（ニイハオ）〟と〝謝謝（シェイシェイ）〟の風景

近畿日本ツーリスト
株式会社修学旅行部長　天野明夫

六月中旬から七月初旬にかけて、初めて中国を訪問した。同行する中国旅行部長秋山さんは、私が敬愛する先輩で心優しい方である。出発に先立って中国語が皆目できない私に〝你好〟（こんにちは）〝謝謝〟（ありがとう）だけは覚えておくようにと云われた。結局のところ北京―安陽―郟州（開封・登封）―洛陽―西安と「紅旗」「上海」で駆け巡った十一日間、私が発した中国語はこの二つだけだった。

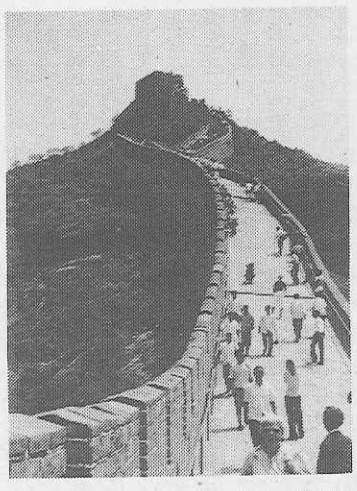
六月二十四日梅雨空の成田空港を中国民航機で発つ。離陸して間もなく、隣席から秋山さんが「もうここは中国領ですよ」と声をかける。簡素なデザインの白いブラウスにグレイのズボン、短く切った髪を輪ゴムで後に一つで束ねた女性乗務員が飲物を配り始める。ビールを注文すると、手渡されたのはグラスに氷、米国製の缶ビール、いわばビールの水割りである。秋山さんに「ビール冷えてませんよ」と云ったら「中国では冷凍設備が未だ普及していないんです。向こうに行っても同じですよ」と事もなげにこたえる。「じゃあ、ホテルの冷房もないんですか」と聞くと「北京以外は多分ダメだと思った方がよいでしょう」とおっしゃる。重ねて「確か行程表によると夜行寝台列車に乗ることになっていましたね。エア・コンの設備は……？」と聞く「外国人観光者は軟臥車といって、日本のグリーン寝台車にあたるのを利用するのですが、切符を確保するだけでも大変なんです」（と言外に余り経済大国日本人流の贅沢を云いなさんなというニュアンスがかえってきた）。この先輩の面白さは、こと中国のことに関する限りご自身が現代中国人になり切って思考されるところにある。

実際のところ、この秋山宣告には少々げんなりした。ガイドブックによると、訪れる河北・河南・陝西各省地域の平均気温は、この季節最低二十四乃至五度、最高三十九度近くに達するという。事実、安陽・郟州・洛陽では、連日三十五度を前後したし、西安では三十九度まで上がって城外から秦始皇帝陵へ向かう路では、プラタナスのうっそうとした並木に覆われた簡易舗装のアスファルト道路も、すべて今工事が終ったかのように溶けて見えた。

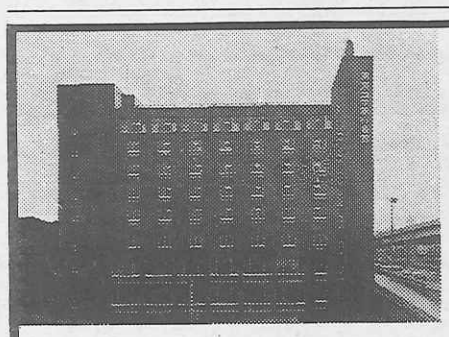
しかし、ホテルのエア・コンディショニングは新旧の差こそあれ、又すべて日本製ではあったが完備していたし、ホテルで飲むビールは適度に冷え、特に中国最高の銘柄と云れる〈青島ビール〉は、ドイツの伝統が伝っているのか聞き漏したが美味だった。同様に北京―安陽、洛陽―西安と結局2度乗ることになった軟臥車も、洛陽・西安間は東独製車両らしくクーラーが効き快適だった。

〝四つの近代化〟路線を突っ走る現実の中国は、年数回訪中する秋山さんの知識と経験を上廻るスピードで驀進しているようにもみえた。

ところで、現在日中間の定期航空路は、東京と大阪から北京・上海へ、長崎から上海へと日本国内三地点中国内二地点間を、主として中国民航・日本航空が結んでいる。所要時間は、東京―北京約四時間、長崎―上海約一時間四十分である。私達の乗った中国民航九二六便は、成田空港を離陸すると伊豆大島上空から航路をほぼ真西にとり、四国南端をかすめ日向灘、志布志湾、鹿児島を経て、更に東シナ海を西行横断、中国江蘇省の東湾岸沿いに北上して北京空港に着陸する。（つづく）



中国軍人の姿も――
にぎわう万里の長城
（筆者うつす）

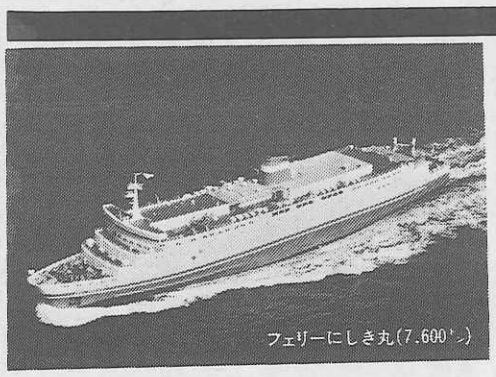


東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL (03)585－1046(代表)

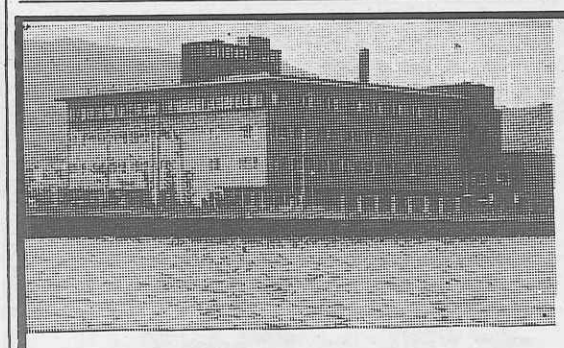
東京 コマ旅行会館



思い出の修学旅行
印象的な――
瀬戸内海の船旅。

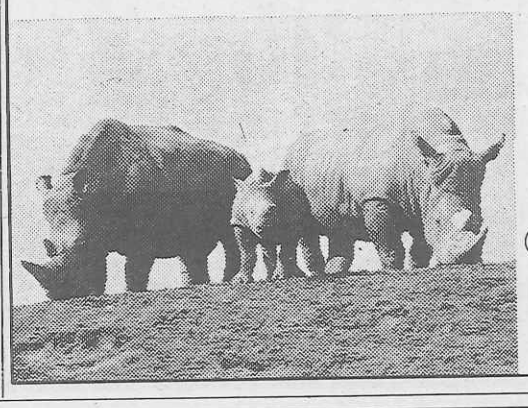
●阪神／別府直行・大型フェリー（毎日1便）
●阪神／別府航路（毎日2便）
●阪神／小豆島・高松便（毎日1便）
★貸切船「さんふらわあ7」「こはく丸」もご利用ください。

お問合せは 関西汽船
●大阪市北区梅田1－1・TEL(06)344-7031
●東京都中央区八重洲1－4－14・TEL(03)274-4273
及び、各地支店駐在員、旅行代理店へ



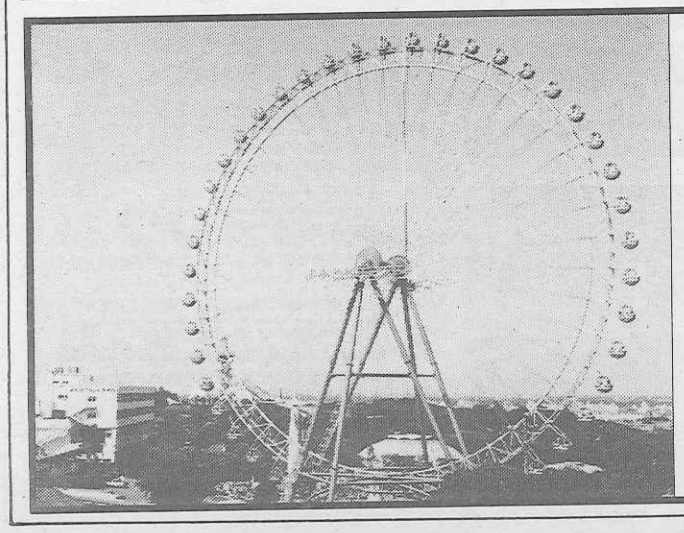
いらっしゃいませ
びわ湖国定公園
近江路の旅へ
収容　600名様
浴場　150名様
設備　全館冷暖房
防災　諸設備完備
駐車場　バス20台
政府登録
国際観光旅館　びわ湖ツーリスト・ホテル
大津市におの浜3丁目2－25　電話　大津(0775)24－2321

育てる心は、みんな同じ。



●営業時間
9:00～17:00（3月16日～11月15日）
9:30～16:00（11月16日～3月15日）
●修学旅行料金　高校生 1,000円
中学生 700円、小学生　600円

別府あじむ草原
アフリカンサファリ
〒872-07 大分県宇佐郡安心院町大字南畑
☎（09784）8－2331(代)



三六〇度のパノラマ大観覧車

㊟防火基準適用施設
修学旅行、受験生の宿泊に最適!!
東京の都心から30分の地の利にある「よみうりランド」敷地内に1,500名宿泊収容できるよみうりランド会館があります。多摩丘陵の静かで落ついた環境の中で、楽しい旅行を満喫して頂けるよう安いご予算で限られた旅行スケジュールを効果的にあげるご便宜を計っております。
また、一般の方や、団体旅行の宿泊はもちろんのこと、各種会合や研修会などのご用命も承っておりますので、ぜひご利用ください。
※ご宿泊特別ご優待　よみうりランド入園ご招待、その他の施設は割引
よみうりランド会館　東京都稲城市矢野口3294　TEL 044(966)1137～8
交通のご案内　京王線京王よみうりランド駅→スカイロード（動く歩道）、小田急線読売ランド前駅→直通バス
首都高速3号線（渋谷線）→東名川崎インター8km、首都高速4号線（新宿線）→中央高速調布インター5km

修学旅行の源流を求めて

明治期の修学旅行〈6〉

西山文男

西山文男氏

◎臣民的共同一致精神涵養の温床

明治期は言うまでもなく、家族意識がひろがって「ムラ」としての共通の同族意識に、更に同心円的にひろがって臣民的共同意識へと拡家族的に連っていくわけである。

富国強兵・天皇中心の皇室中心主義・中央集権体制の中で個人を国民化すること・臣民化すること即ち皇国民育成がその基底理念であり、この理念から政治・経済・文化・教育のあらゆる面の統合点となって発展していった時代である。

修学旅行も旅行という形態を媒介として、国民的意識や団結を強化する機会として重視され、内容的に見ても、

時の為政者であり、教育の中心権力者である文部大臣との会見

国体のシンボルとしての宮城を参拝

皇室の宗廟としての伊勢神宮に拝礼

する等にもよくうかがえる。これを伝統的な面から考えてみると、永らく民間の伝承として、引きつがれて来た。

抜け参り・おかげ参り・代参講・忌籠等の山岳登拝・社寺巡拝等の民間の伝統が、明治期において修学旅行における神社参拝即ち伊勢神宮・日光東照宮・靖国神社への参拝の根底になっているのであろう。

更に修学旅行の目的としてあげられている師弟関係や集団関係の強化もこの意味からみると

○師弟関係の親睦に重きを置き、同じ釜の飯を食い、共に宿泊して、共に語り、歌い合うといったことも同族感情を強化し、深化するねらいに重きがおかれることになり、

○「ムラ」に象徴される共同一致の感情と意識を、修学旅行をする学校集団の中でふかめる機会として重視されもしたのである。

大正・昭和初期への国家的共同一致精神培養の温床

大正・昭和初期において、忠君＝愛国　天皇＝国家のための共同一致の精神培養ということは、以上の考察からみて、更に強化され、つよい国家的要請として展開されたわけである。

未だ大正・昭和の修学旅行については、ふれていないこの段階で論ずることは至って飛躍的であるが、明治時代からの修学旅行（教育全般もふくみ）の歩みは―その後の大正・昭和初期までの国家的共同一致の精神培養に応える修学旅行の温床を形成していたものと思われるのである。

四、まとめ（明治期）

私は本稿において意図したことは、かねがね今日行われている修学旅行の源流を知りたい。そこから時間的に今日までの発展・変化をさぐりたい。それはまず教育制度史的理解の上に立って、時代の社会的要請と教育との関連、その中で運営されていく修学旅行との相互の関係を構造的につかみ、ひるがえって今日の現代教育理念と社会的要請に応えるべき修学旅行の在り方をさぐり当てたい……という意図からである。

この稿では、まず源流となるものを幸い前両者の労作によって、私なりに教えられたものをまとめてみたわけで、そこからすぐ今日の修学旅行の在り方を設定しようとは思わない。引つづき大正・昭和初期の修学旅行のうつり変わりを十分検討していきたい。

ただ以上の明治期の修学旅行について本書を通じて教えられる中に、すでに重要ないくつかの問題や課題が数多く抽出される。

今日の修学旅行の創造に当り、つづいて大正・昭和初期の研究をまとめと併せて重要視点として取り上げていきたいと思っている。

（おわり）

来春オープン「東京ディズニーランド」の料金などきまる

千葉県浦安市に、来春オープンを目指して建設中の「東京ディズニーランド」の料金体系がきまった。

園内には、ワールドバザールをはじめウェスタンランド、ファンタジーランド、アドベンチャーランド、トゥモローランドなどそれぞれにテーマをもつ5つのランドが建設される。

入園券などの各種料金は次の通り。

▼入園券（入園のみ可能）＝一般・大学生二千五百円、中学・高校生二千百円、4才以上小学生千五百円▼修学旅行などの学校行事特別料金（25名以上・平日のみ）入園のみ可能な「スクールスペシャルA」中学・高校生千二百円、4才以上小学生九百円、入園とアトラクションフリーの「スクールスペシャルB」中学・高校生二千百円、4才以上小学生千七百円。ほかにアトラクションとの各種セット料金、夜間、年長者、一般団体の特別料金が設けられている。問い合せは千葉県浦安市舞浜5―5（株）オリエンタルランド・東京ディズニーランド運営本部（電話〇四七三―五四―二五一一）。

グリーンツアー

㈶全修協では教育界OBを対象に秋のグリーンツアー（主催・全修協）を募集している。四季折々の日本の風物や伝統行事の鑑賞など、深まりゆく日本の秋が堪能できる。

シルクロード

ロマンの旅＝10日間

その昔、ラクダの隊商が絹を運び、中国と西方世界を結んだ道―シルクロード。

奈良・法隆寺の壁画、高松塚古墳の飛鳥美人の源流ともいえる莫高窟（敦煌）の美、万里の長城の西の果て、嘉峪関（酒泉）、中原と西域を結ぶシルクロードの要衝（蘭州）など見学。

【期日】10月7日―16日。

【会費】四五〇、〇〇〇円（成田空港）。

【定員】二〇名。

【日程】上海2泊、蘭州3泊、敦煌3泊、車中泊2泊。

【会費】七七、〇〇〇円（上野駅）。

【定員】各班四〇名。

【コース】①上野駅（10時30分）―リレー7号―大宮駅―やまびこ15号―一の関＝中尊寺＝厳美渓（泊）②＝盛岡・郷土資料館＝渋民・啄木記念館＝東八幡平＝八幡平アスピーテライン＝発荷峠＝休屋（泊）③十和田湖遊覧―子の口＝銚子大滝…白糸の滝・奥入瀬散策＝（石ケ戸）＝八甲田山・ロープウェイ、雪中行軍銅像＝青森駅―特急寝台・ゆうづる6号④―上野駅（午前6時）。

東北新幹線利用

紅葉の八甲田・十和田　3泊4日

お知らせ

「モデルカーで見る自動車展」

交通博物館

7月20日～8月31日。モータリゼーションの発達により日常の生活に深く浸透し不可欠なものとなっている自動車。モデルカーを中心に、自動車の歴史、動力の変遷、実験コーナーなどを展示紹介する。▽国電、秋葉原、御茶ノ水、神田各駅下車。

「修学旅行新聞」購読料について

本紙、購読料は七月号より年間一、〇〇〇円に改定していますが送料は年間購読料に含みます。

訂正

本紙七月号（No.246号）で一面の三地区の新役員、鯉渕一郎（前、水戸市立第二中学校）は前、水戸市立第二中学校長の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

ニュース点描

東北・上越新幹線は、東海道・山陽新幹線にくらべて、設備もよく乗り心地もよいので人気上々という。国鉄用語でいうと、東海道・山陽用は0系、東北・上越用は200系というのだそうだ。

田中新幹線総局長は「あっちは生まれた時から三つ揃いのスーツ、こっちも昔はよかったが、近頃はほころびが目立つ」と言ったそうだがうまい言葉だ。この格差？解消へ、国鉄では新車の投入と「ひかり号」の座席改造を進めている。本年度中に「ひかり号」は全部「やまびこ」なみに〝再生〟するとのこと。

そうなると、東海道・山陽新幹線利用の修学旅行専用電車も一両一三五〇人から一三〇〇人にリラックスできる。国鉄の評価、アップ。

◇　◇

教科書問題が無気味な大型台風なみに、国際間の悪気流となって拡がるばかり、まったく〝憂うべき教科書〟となった。新聞、テレビ、ラジオは連日これを大きく報道し、速やかな対応を求めている。／日本の教科書検定に反発、「侵略」なぜぼかす、七月二十日付・中国人民日報／中国に続き韓国も批判、七月二十日付東亜日報など／平和条約に違反、中国厳しい批判、七月二十二日新華社報道／中国公使王暁雲氏文部省の説明に不満の意、七月二十九日／中国、韓国の教科書批判民衆レベルで広まる、七月三十一日／中国が是正を要求、公式に抗議、七月二十六日／韓国政府も修正要求、八月三日。

このように、高校の日本史の記述が国際間の外交、民族の信用問題に発展したのは「侵略・進出」といった言葉いじりの背後にある「日本人の心」が問われているのだ。今年前半期に二百万余の日本人が海外に旅をした。この際とくにその一人ひとりの心の持ち方が大切。

◇　◇

死者九十一人、行方不明百三十八人、生き埋め百三十一人、これは、毎日新聞社が、七月二十四日正午現在でまとめた九州中・北部・山口県の豪雨禍の人数である。その後、災害は拡大した。

二十二日から降り出した豪雨は、二十三日、二十四日と降り止まず、長崎市鳴滝町で山が崩れ、十世帯三十二人が生き埋めとなった。電気や水、ガスもストップし、道路寸断、電話、交通、通信網のマヒ、長崎は一夜にして原爆以来の惨状を呈したとのことである。

修学旅行・研修旅行で親しまれてきた、重文・眼鏡橋も壊され渦巻く水流の写真が生々しかった。

また、間もなくもう一つの災害。本土直撃コースをとった大型台風10号は、八月二日午前零時すぎ愛知県渥美半島西部に上陸し、各地に大雨を降らせ、本州中部を横断、二十七都府県に被害が出た。警察庁調べ二日午前十一時半、死者四十八人、行方不明二十九人、負傷九十二人。国鉄をはじめ交通寸断。平年より十五日遅い梅雨明け。一九八二年の暗い夏の出来事〝天災と人災の重層〟

高原の四季・静かな憩い

蓼科

蓼科高原、白樺湖へ登り、さらに女神湖へ出て「女神湖ホテル」に泊った。

シーズンオフの高原のホテルというのはいいものだ。歩いて一周三十分の女神湖。

『白樺が群生していて湖があって、しかも名前が女神湖でどうですか。教会を建てなさい。そこで結婚式をやるんです』

☆

「女神湖ホテル」から霧ケ峰をぬけて旧中仙道で山を下りた。木曽もいいが、山を下って追分までの中仙道の宿場の風情はわざとらしさが無くて、しかも世の中のうつりかわりを感じさせるところが好きだ。

永六輔〈終りのない旅〉より

女神湖のほとり、山の湖のロマンをそのままに漂わせるようにたたずむ明るく清潔なホテル。

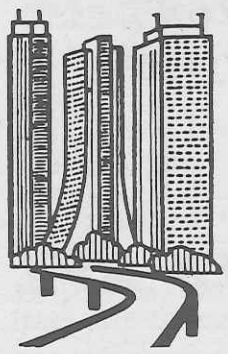
女神湖ホテル

〒384－23　長野県北佐久郡立科町芦田　電話　02675－5－6006

案内所　東京：千代田区内幸町2－2－2富国生命ビル　電話03－591－8844

大阪：北区小松原町2－4フコク生命　電話06－312－8988

首都東京を見て、何かを！



学校単位の貸切りでご利用下さい

30年の経験を生かす　50旅館　8000名収容

本郷の旅館へ

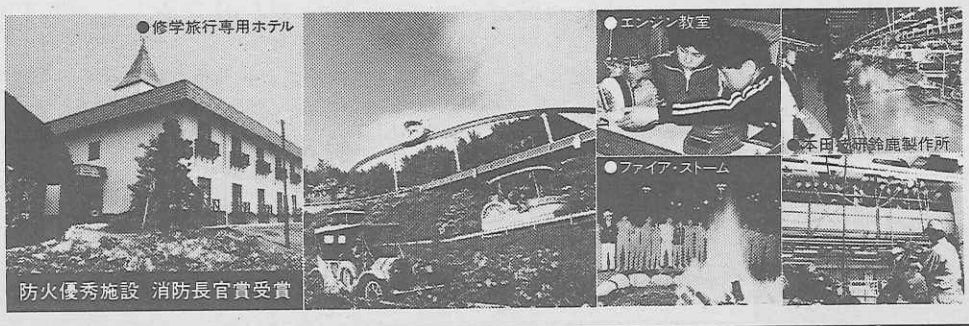
本郷旅館協同組合

〒113 東京都文京区本郷4－36－3　TEL 03－813－9381

「今日」に触れ、学び、修める、モートピア体験。

興味こそ学びの原点。モータリゼーションへの興味を通して、若者のこころに語りかける有意義な修学旅行が、多くのご支持をいただいています。

エンジン教室、工場見学、実際に運転できるのりもの…。ゆたかな自然のなかで、触れて、確かめて、楽しみながら理解する。それがモートピアでの修学旅行です。鈴鹿サーキット、多摩テックには、そんな意義深い体験を快適なものにする施設がいろいろ。リラックスできる専用ホテルでのお食事や、キャンプ場での野外炊飯をはじめ、旅の夜を彩るファイア・ストームの解放感に、忘れ難い思い出がつくられることでしょう。



陽気なビッグ・レジャーランド

鈴鹿サーキット

〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992／☎(0593)78-1111

●名古屋または大阪より近鉄特急白子駅下車直通バス

スズカから京・奈良・伊勢・志摩へも2時間の距離。

未来と過去を結ぶ理想の修学旅行コースです。

緑のモートピア

多摩テック

〒191 東京都日野市程久保1／☎(0425)91-0820

●京王線多摩動物公園駅下車直通バス

ご視察のお申し込み、資料ご請求は…

株式会社ホンダランド

名古屋営業所/修学旅行課：〒450 名古屋市中村区名駅3-12-12 竹生ビル☎(052)571-7176

本社/東京営業所：〒104 東京都中央区八重洲2-6-20 ホンダ八重洲ビル☎(03)274-5821

大阪営業所：〒530 大阪市北区芝田2-1-1 阪急芝田町ビル☎(06)372-1526